

回復の兆しは一部。長引く低迷に不安拡大！

2009 年末一時金「業績回復状況で明暗。回答・妥結水準は二極化の結果に…」

	2009				2008	
	要 求		回 答		同一単組比較	
	金 額	月数	金 額	月数	金 額	月数
単純	427,907	2.14	389,925	1.69	-99,321	-0.41
加重	478,819	2.17	481,720	2.05	-57,857	-0.21

JAM 山陰「年末一時金回答状況」2009. 12. 10 現在

ると、金額・月数とも昨年を下回る厳しい結果となっており、特徴は下記の通り。

- ① 昨年を上回るか同水準が3単組、昨年を下回ったのは24単組
- ② 要求に対する回答・妥結水準が8割以上は7単組、5割以下が6単組のうちゼロ回答2単組
- ③ 大手・中堅労組の水準が下げ止まりに貢献

「新年度方針へ向けて」 2009. 11. 12 松江地協代表者会議



松江地協は第9回代表者会議を、三菱農機労働会館にて開催。細木議長は「JAM 山陰の仲間は厳しい状況が続いており、ともに難局を乗り越えるべく活動強化に向けた方針策定をお願いしたい」と挨拶した。会議では、2010年度の総会準備と当面の諸課題の確認・協議、各単組状況報告が行われた。来年度からは、JAM 山陰執行委員会との連動性を持たせた会議開催への変更や、津田やたろう組織内議員の参院選など、会議開催頻度も多くなる旨確認された。

「情報交流で意識啓発」 2009. 11. 28 青年協第11回総会

JAM山陰青年協議会は「第11回定期総会」を松江市の島根県民会館で開催し、各単組から総会代議員ら47名が出席した。林田議長(三菱農機労組)は、「青年協の活動は各単組の垣根を越えた交流がとても大切で、絶好の情報交流の場として積極的に関わって欲しい」と挨拶した。



▲左から林田議長、森本東出雲町議の挨拶と宮野新議長の音頭によるガンパロー三唱の様子

来賓には、JAM 山陰の多久和委員長と組織内議員の森本東出雲町議が臨席し、祝辞を述べた。本年度は、役員改選の年であり2010、2011年度の役員選出も行われ、新議長として宮野浩二さん(三菱農機労組)が就任した。宮野新議長の発声による青年協活動の発展と爽りある活動を祈念したガンパロー三唱で総会が締めくくられた。総会終了後には、第1回目となる幹事会を開催し、2010年間計画における具体的な活動の考え方について協議された。

「政策実現へ一致団結」 2009. 11. 30 松江地協「2010年度総会」

松江地協は、松江市労働会館にて「2010年度総会」を開催。各構成単組から約40名が出席し、2010年度活動方

2009 年末一時金は、世界同時不況の影響が継続している中での取り組みとなった。業種や規模間によって回復状況に差があるものの、今なお多くの企業で雇用調整助成金を利用した操業調整が継続され、一部に会社清算や人員調整も発生している事態である。

12月10日付の27単組の回答集計結果によ



▲左から挨拶する細木議長、多久和委員長、高野出雲市議、齊藤松江市議と総会出席者

なければならない。今後の実感できる改革に期待をしている。新年度はやたろう選挙の年であり、民主党の体制強化とJAMの政策実現へみなさんの強力なご支援をお願いする」とあいさつした。来賓には、JAM 山陰の多久和委員長と組織内議員の高野出雲市議と森本東出雲町議、推薦議員の齊藤松江市議が臨席し祝辞を述べた。議案はすべて承認され、松江地協2010年度の活動をスタートさせた。

「2010 春闘方針策定へ」 2009. 12. 11 第1回労働政策委員会

2010年春季生活闘争の方針策定を主議題とした第1回労働政策委員会を開催。堀内労働政策委員長(三菱農機労組)は「この労働政策委員会は、春闘、安全衛生、最低賃金などの取り組みについて検討するが、特に今春闘は、厳しい状況下における雇用と構造維持分確保の方針で決まった。全ての単組が取り組むべき課題について活発に意見交換したい」と挨拶した。山陰地方における企業業績の回復はごく一部にとどまっており、今後の二番底が懸念される中厳しい交渉展開が予想される。しかし、各単組の個別課題と春闘の取り組みは、JAM山陰の確認と了解の下、進めていくことを確認した。



「雇用維持に全力傾注を」 2009. 12. 11 第2回執行委員会



JAM山陰は、第2回執行委員会(雇用対策本部会議)を開催し喫緊の課題について協議した。多久和執行委員長は冒頭のあいさつで「景気の低迷は、職場に不測の事態を招き悪戦苦闘の状況となっている」と、構成単組における合理化・企業再建提案に触れ「雇用を守ることに全力を傾注し、この難局を労使で乗り切っていくしかない」と訴えた。雇用対策関係の協議では、JAM組織調査グループの遠藤副グループ長も出席し「JAMの仲間は大変厳しい状況が続いている。我慢しきれない企業の今後の対応を危惧している」と状況を説明した。また、2010年政策実現推進計画Vol.2も確認され、津田やたろう組織内議員の再選に向けた体制と具体的な取り組みが決定された。同じく第22回参院選の鳥取県選挙区から出馬予定の「さかの真理」氏(民主党公認)の推薦決定もされた。

「単組財政負担の軽減へ」 2009. 12. 11 第1回総務財政委員会

JAM山陰は、第1回総務財政委員会を開催し、懸案事項であった外部役員に就任した単組役員の時間保障を含む単組財政への負担を軽減する方向で検討を始めた。JAM山陰の代表として就任か、地協代表として就任かの分類やその会議・行事の頻度、開始時間、拘束時間などについて調査を実施し、限られた財政の中で可能な範囲の予算付けを行い、単組への負担軽減が目的。



やたろう「サポーター」エントリーカードの年末駆け込み募集！

私たちの代表として国政で活躍中の「津田やたろう」参議院議員のサポーター募集が締切間近となっています。

JAMの全組織・全組合員が総力を結集して取り組む課題と位置付けていますので、今一度、組合員のみなさんと同居家族のエントリーへご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。(サポーターカードを紛失された方は執行部までご連絡を)